



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Ooiwa Address:〒654-0013 1-1-5 Ote-cho,Suma-ku,Kobe,Japan  
 Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850  
 URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)

## 主 題

- 国際協会会長** K.C. Samuel (インド)  
 フェローシップとインパクトで次の100年へ
- アジア太平洋地域会長** Shen Chi-Ming (台湾)  
 新しい時代とともに、エレガントに変化を
- 西日本区理事** 田上 正 (熊本むさし)  
 原点を知り将来に生かす  
 Know the origin and utilize it in the future!
- 六甲部部長** 若林成幸 (宝塚)  
 困難なときにこそYMCAと共に進もう  
 Let's proceed with YMCA in difficult times
- 芦屋クラブ会長** 大岩雅典  
 主題 力を合わせて出来ることから始めよう  
 Let's start with what we can do together

## 今月の聖句

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」  
 <マタイ福音書 5:9>

## 7月第1(キックオフ)例会

と き: 2022年7月20日(水) 19:00~21:00  
 と ころ: ホテル竹園芦屋 (敬称略)  
 司 会: 福原吉孝ワイズ

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 開会点鐘         | 大岩雅典会長             |
| 2. クラブソング       | 斉唱 一同              |
| 3. 聖書朗読         | 羽太英樹ワイズ            |
| 4. ゲスト・ビジター紹介   | 福原吉孝ワイズ            |
| 5. 食前感謝         | 山口光一ワイズ            |
| 6. 会食・歓談        |                    |
| 7. 六甲部部長訪問      | 若林成幸部長             |
| 8. 会長所信表明       | 大岩雅典会長             |
| 9. 芦屋クラブ新旧役員紹介  | 大岩雅典会長             |
| 10. メンバー'sスピーチ  | 島田 恒ワイズ            |
| 「いま私たちはどこにいるのか」 |                    |
| 11. 事務報告        | 大岩雅典会長             |
| 12. 各事業報告       | クラブ事業委員            |
| 13. YMCA報告      | 坂本孝司担当主事           |
| 14. ニコニコ献金報告    | 坂東幸子ワイズ            |
| 15. 誕生日祝い       | 大岩雅典会長             |
|                 | 篠坂幸彦・菅原進・羽太英樹・羽太光子 |
| 16. 閉会点鐘        | 大岩雅典会長             |

- |         |           |
|---------|-----------|
| 会 長     | 大岩雅典      |
| 直前会長    | 大岩雅典      |
| 副 会 長   | 山口光一・福原吉孝 |
| 書 記     | 菅原 進      |
| 会 計     | 羽太英樹      |
| 監 事     | 上野恭男      |
| 担当主事    | 坂本孝司      |
| 六甲部広報委員 | 大岩雅典      |

7

July, 2022  
 301号

## 『会長職3年目を迎えました』

大岩雅典



3年目の会長をやらせていただくこととなりました。

『石の上にも3年』今年度は昨年度までの反省を踏まえて過去2年の経験を活かし、より良いクラブの運営に邁進したいと思います。

今年の会長主題は『力を合わせて出来ることから始めよう』とさせていただきます。

コロナ過の混乱により土壇場でコロナ対応が変化する事態に翻弄され続け、対応が間に合わない場面が多々ありました。そんな時こそ力を合わせて出来ることから対処することの重要性を痛感したこの2年でした。

この2年間主だった活動はほぼ“真っ白”でしたが、幸いにも新しいメンバー2名に入会いただきました。

皆様のお力添い、力を合わせたからこそその成果だと思えます。次の世代交代は一気にではなく徐々に進めていかなければならないと感じております。

過去2年で学んだことを生かし、芦屋クラブの伝統を重んじ次世代への橋渡しを少しずつ進めていきたいと思えます。

## 6月例会集計

第1例会出席	例会出席率	BF切手
メンバー 16名	出席者 16名	累計 gm
ビジター 名	メイクアップ 1名	
ゲスト 1名	合計 名	
メネット 3名	在籍者 19名	ニコニコ 10,800円
コメント 名	(内広義会員1名)	累計 102,110円
合計 20名	出席率 94.4%	

## 6月第1例会報告

日時： 6月15日(水) 19:00~21:00

場所： ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者： 大岩雅典会長、上野恭男、大澤二郎、柏原佳子、桑野友子、権 甲植、島田 恒、菅原 進、中山豊美、羽太英樹、濱瀬眞知子、坂東幸子、福原吉孝、増田知子、山口光一(各ワイズ)、坂本孝司担当主事、大澤昌子、羽太光子、山口千佳(各メネット)

ゲスト： 奥田 実

2022年6月の第一例会は、かつてない喜ばしい会となりました。各ワイズの皆さまは、いつもより早くホテル竹園芦屋コスモスの間に集まりました。

例会は、大岩会長の開会点鐘、クラブソング、羽太ワイズの今月の聖句の朗読と続きました。いつもの例会とはどことなく華やいだ雰囲気の中、山口光一メン、千佳メネットの結婚の祝福の会が、始まりました。



6月の結婚式は June Bride とされ古くから幸せな結婚生活を送ることができると、されています。

山口ワイズ自身によるピアノ演奏”結婚行進曲”とともに、上野ワイズの介添えて、純白のウェディングドレス姿の初々しい、千佳メネットの入場です。

会場は、瞬間幸せの空気に包まれました。



そして芦屋ワイズの皆さまが白いバラを1本ずつ千佳メネットに渡して、幸せの花束となりました。

白いバラの花こぼは、“あなたは私にふさわしい、尊敬します”とともに、その後、お二人は権甲植伝道師より祝福のお言葉をいただきました。

祝福のお言葉は“人間の尊厳は、いつからか皆の協力を取ったものを、皆々に分け与える” 2人の幸せは2人が幸せを受けて、そこにいる皆々の人に幸せが広がって包まれる、そのことが1番大切なのですと話されました。

まさしく、お二人の幸せが会場



場の皆々に、広がって、心温まる、祝会が始まりました。

素敵なお二人の記念すべき写真撮影のあと、島田ワイズの祝辞、柏原ワイズの食前の祈り、乾杯へと続きました。

各テーブルの皆様からは次々とお祝いの言葉をいただき、中山ワイズとご友人の奥田氏とのハワイアンウェディングソング、

菅原ワイズの‘幸せなら手をたたこう’の歌など和やかで、幸せの輪が会場に広がりました。

楽しい時間はすぐに過ぎていきます。

運命的な出会いから、結婚へのいきさつなど、お二人の結婚の挨拶のあと、笑顔で全員集合写真、ひとまず、幸せの余韻を残して祝福の会は終わりました。



その後大岩会長から、大沢所長へ‘みどり基金贈呈式’、坂本担当主事からYMCA報告、大岩会長の事務報告、誕生日祝いがおこなわれ、例会は終わりました。

最後に、この素晴らしい祝福の会を開催するにあたり、色々企画を考えてくださった芦屋ワイズの皆さま、

ウェディングドレスを、準備、着付け、ケーキを準備された柏原ワイズ、教会から赤いじゅうたんを用意してくださった上野ワイズ、素敵なお白いバラを準備してくださった坂東ワイズ、式次第を作ってくれた、桑野ワイズ、当日、写真など、色々とお気配りしてくださった大岩会長、すべてに皆様の温かい準備があつてこそこの素敵なお祝福の会となりました。

このような祝福の会の司会に携わって、とても感動し、幸せな気持ちで溢れました。

もう一度、山口光一メン、千佳メネットいつまでも、

お幸せに!!! 濱瀬 眞知子

### 感動の 6月15日 (水)

山口光一メン・千佳メネット「祝福の会」

お二人は、コロナで結婚式できていない事を柏原メンが聞き、写真だけでも撮る？と言うところから始まりました。

お嬢さまのドレスがピッタリで、

「例会でお祝いしましょう」と

言う素晴らしい嬉しい事となり

ました。バージンロードの

赤い毛氈を上野メンが用意

してご自分で引かれ、白い

バラを坂東メンが用意され皆

が一本ずつ持つ。新郎の弾く

結婚行進曲で新婦と上野

メンと共に入場し、皆が両

側から白いバラの祝福を

新婦に渡す感動のシーン、

シニアの方々が若い新婦

に白いバラを差し出すシー

ンは、とてもかわいらしく、

あたたかい祝福と共に

新郎の手に差し出されました。

司式は、権甲植伝道師、祝福の言葉に拍手、賛美歌「いつくしみ深い」を唄いました。





その後、楽しく会食、会場はあったかい幸せな雰囲気が漂っていました。

食後にサプライズで“HAWAIIAN WEDDING SONG”を奥田実さまに唄って頂き、場がもっと盛り上がりました！中山の思い付きで、歌詞を送り15時頃 Fax を見られたと言う強引なお願いだっか！先生なら歌える！後、菅原メンが皆で“幸せなら手をたたこう”、“幸せならキスしよう チュウ チュウ”で大盛り上がり... 皆様の一言ずつのお祝いが「このようなお祝いができて幸せでした」「幸せをありがとうございます」と言う感動のお言葉でした。皆様の心からの応援する気持ちの美しさがあり感動でした。“これが本当の結婚式だな”と思いました。新郎の御礼のご挨拶と「こどもたちを護る・応援する社会を芦屋に作るため、来年、芦屋市議員に立候補する」と言うこども食堂、こども英会話を教える等多くのボランティア活動されている好青年です。この度、芦屋 Y's men クラブ副会長とられました。世代交代を芦屋 Y's がされ、とても嬉しいです。また、これぞ SDGs の 結婚式だったと思います。ウエディングドレスに始まって素晴らしい芦屋 Y's メンズ クラブでしかできなかった皆の愛の輪、おめでとうございます！若者のためにシニアの皆が動く、と言う美しいこれからの社会の見本となる！幸せ！

中山豊美

## みどり基金に寄せて

6月のワイズメンズクラブの第1例会に参加させていただき、皆様のお心のこもった「みどり基金」を頂きました。ありがとうございました。継続して私たちを見守り、いつも支えてくださることを感謝しています。



春日町にグループホームがあります。今年度そのグループホームを増築して定員を増やしたいと願っています。5月20日、増築のための近隣説明会をしました。近隣の皆様からは

大反対の厳しいお言葉を頂きました。障害のある方が地域で暮らすために、私たち支援者にできることは何だろう。理解していただくためにどうしていけばいいのか。地域の方に迷惑をおかけしないためにできる事、日々のコミュニケーションの大切さ、理解していただくための努力について話し合い、考えているところです。1か月前から週に2回近隣の清掃を始めました。日々のあいさつに心がけています。なかなか理解していただくには時間のかかることも多いと思いますが、みんなが地域になじみ元気に暮らせるようにと心から願っています。続けて障害があっても地域の中で自分らしく暮らしたい。それぞれの方の思いが形になるようにと支援させていただきたいです。近隣説明会は理解をして頂けるように再度開催したいと思っています。

プリテン6月号に載せていただいていた、「きらりと輝くアート展」web開催をみんなで見させていただきました。出展させていただきありがとうございます。今後の作品制作への意欲がわいて、みんな新しい作品に取り組んでいます。

大澤昌子

## 『日本区大会に参加して』

2022年6月11日岡山国際ホテルで開催されました。西日本区大会に芦屋クラブ会長としてバナーセレモニーに参加してまいりました。芦屋クラブからは上野メン、柏原メン、桑野メン、増田メン4名の参加があり、バナーセレモニーの為会長が壇上に立つと心強い声援を送っていただきました。



ホストクラブである京都トップスクラブ、岡山クラブの皆様のご献身的なお働きにより沢山の意欲的な試みがなされ、大型スクリーンや、キッチンカーなど素晴らしい演出で大会を盛り上げていただきました。

岡山市の中心街から外れた東山の山上にあるホテルまでの送迎も完璧で、遠方からでも不安なく行き来できる素晴らしいホローアップでした。

大会では沢山のワイズの方々と交流ができ、お話が弾んで、つい



いお酒も進んでしまい、

帰りの電車でバナーを忘れないか心配で緊張しましたが、なんとか無事バナーを持ち帰ることができました。来年は熊本です。早割りチケット予約のお話をしたら何人もの方が依頼に来られ、年末ごろは私も責任重大です。ほんとうに皆さん楽しみにしておられるのだということがわかるエピソードでした。

今回初めて会長として参加いたしました。大変楽しいワイズの交流を体験できたこと、応援に来てくださった芦屋ワイズの皆さん、ワイズ先輩諸氏に感謝いたします。これからもワイズダム奉仕頑張っていきたいと思っております。



大岩雅典

ワイズメンズクラブに入会させていただいて、まだ何もわ

らないまま、「西日本区大会」に初めて参加しました。緊張しながら、会場へ足を踏み入ると、皆さん和気あいあいと談笑されていて、少しずつ緊張がほぐれていきました。



バナーセレモニーや、聖書朗読、祈禱などのプログラムには、感動しました。懇親会での、音楽やダンスのパフォーマンスも、素晴らしかったと思います。

そして、駄菓子の店も出店されていて、そのくじ引きで久しぶりに「当たり」が出て、写真のような菓子をいただきました。私にとって岡山は縁起の良い場所になりました。

このような機会をいただけて、感謝いたします。 増田知子

## 聖句 読み解き

平和とは、単に戦争がないという状態を指すのではない。社会的にも、人間の精神においても、満たされた安らかな状態が維持されることを意味する。

しかし、現実的に考えた場合、このような平和を人間の力によって実現することは不可能だ。なぜなら、人間が原罪を負っているからだ。この世界の平和は人間が引き起こす悪事で簡単に壊されてしまうのである。平和を実現するために、神のひとり子で、罪のないイエス・キリストが十字架の上で死ぬ必要があった。このイエスの犠牲としての死があったおかげで、人間は平和を享受できるようになったのである。もっとも真の平和は、イエスが再臨し、最後の審判を行った後に実現する。この終末論的平和感がキリスト教の本質だ。（佐藤 優「人生の役に立つ聖書の名言」より）

ロシアによるウクライナ侵攻から4カ月余りが経つが先がなかなか見えない。「戦争というものは、誰かが望んだときに始まるが、しかし、誰かが望んだときに終わるものではない」という思想家マキャベリの言葉があるのを知った。今、世界中でこの紛争が早く終わることを願わない人はいないだろう。「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」聖書の言葉が光る。

羽太英樹

## 6月第2例会議事録(抄)

場所： 芦屋市民センター204号室

日時： 6月22日(水) 19:00～21:00

参加者： 大岩会長、上野、柏原、桑野、島田、菅原、  
羽太、坂東、福原、山口、菅原(各ワイズ)、  
坂本担当主事

議事・報告

### ◇ 第1例会

8月20(土) 西宮、芦屋クラブ合同納涼例会

会場： 香櫨園カクチーナ

会費： 7,000円(西宮クラブ案)の場合、クラブから  
2,000円の補助金 7月例会までに確定

9月21日(水)「世界のお茶の楽しみ方」

山田貴子メネット(神戸ポートクラブ)

10月以降の例会 スピーカーを推薦する

・子供食堂 山口光一ワイズ

・高浜虚子 福原ワイズ推薦

・賀川豊彦 島田ワイズ推薦

### ◇ 2023年4月芦屋クラブ25周年

特別な行事は行わない

記念誌に変えて「メンバーの一言」を掲載するブリテン  
拡大版を発行(詳細は後日)

### ◇ 余島シニアキャンプ寄付金

7月次期クラブ予算から20,000円を贈呈

### ◇ ホテル竹園芦屋より例会費3,850円の値上げ要望

7月より例会費は消費税込み4,000千円とし、  
150円はニコニコに組み入れる

### ◇ 五十嵐ワイズ退会に伴う決算監査役後任

上野ワイズが就任

### ◇ 2022-23年度第一回評議会

参加者： 大岩、上野、柏原、桑野、島田、羽太  
(各ワイズ) 斜体は懇親会参加

### ◇ 第2例会は7月より19:00～21:00、開始5～10分を ブリテン編集会議とする

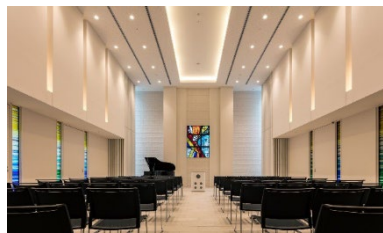
### ◇ 5月会計報告(羽太ワイズ) 承認

### ◇ YMCA 報告(坂本担当主事) ブリテン報告参照

## YMCA ニュース

### ■ 神戸 YMCA 職員礼拝

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、神戸 YMCA 内の委員会などを含めた会議、ミーティング、そして礼拝は全てオンラインとなっております。職員が一堂に集まって、場と時間を共有することは、今なお難しい状況ではあります。



神戸 YMCA 職員礼拝は、コロナの前は、毎週火曜日 9:00 から三宮本館チャペルで、職員もしくは近隣教会の牧師などをお迎えして、職員礼拝をまもってきました。

現在は、月 1 回火曜日の午前中に、可能な限り対面で、それがかなわない場合は、オンラインで、職員が参加をして礼拝が行われています。業務上、この時間に出席することが難しい職員もいる中で、オンライン(ハイブリッド形式)での実施となったおかげで、参加できるという状況もあります。できる限り職員が直接、顔を合わせ、ともに祈りの時間をもつことが、今、必要なことだと捉えて、開催されています。

### ■ 日本語学科 狂言鑑賞会

神戸 YMCA 学院専門学校日本語学科では、言葉だけではなく、様々な日本の文化や歴史などに触れ、学ぶ機会を設けています。例年、実施している狂言鑑賞会を今年も感染予防対策をとりながら開催することができました。今年、日本の古典歌曲「雪山」や狂言「鴈磔」を見ました。

体験コーナーでは、実際に狂言を演じる体験もありました！映像でみたり、話を聞いたりするよりも、言葉は難しくても、実際に触れてみるのが、とても大切であることを感じ、楽しく日本伝統文化を勉強できた 1 日でした。



7 月には、新入生歓迎遠足として、布引の滝をみながらロープウェイを使って、市ヶ原までハイキングをする予定です。

### ■ 第 19 回多文化共生のための国際理解教育・開発教育 オンラインセミナー

神戸 YMCA と複数の団体で協働をして、共に生きる地球社会の実現に向けて、様々な切り口から、国際理解教育・開発教育の実践セミナーを開催します。対象者は、国際理解教育、開発教育に興味のある教職員、学校関係者、学生、高校生などぜひ、ご参加ください。

日程： 8月2日(火) 基調講演

8月4日(水)～8月5日(金) 分科会

会場： ZOOM(オンラインでの開催となります。)

申込： URL <https://forms.office.com/r/3BAarExADg>

詳しくは

<https://www.jica.go.jp/kansai/event/2022/20220606.html> をご確認ください。

編集後記： 6月は第1例会「山口光一メン・千佳メネット 祝福の会」と西日本区大会の2大イベントがあり、感想や写真が盛りだくさん、お楽しみいただいています篠坂ワイズのエッセイは次月号に掲載します。 桑野友子